

仙台・東北の若者のチャレンジを応援!

グローバル スタートアップ キャンパス SENDAI Global Startup Campus (SGSC)

令和5年度に、仙台・東北の学生や若者を対象として実施した、グローバルに活躍する人材を育成するプログラム。東北各地から300人の応募があり、Stage 1には110人が、Stage 2・3には110人からさらに選ばれた20人が参加し、最先端のアントレプレナーシップ（起業家精神）教育や、海外先進地域への派遣などを通して、新たな事業を起こす創造力や挑戦する力を養いました。

Stage.1 アントレプレナーシッププログラム



カリフォルニア大学、ロンドン大学などの最先端のプログラムをオンラインで受講。チームでの議論もあり、起業家の心構えなどを学びました。

Stage.2 リーダーシッププログラム



ハーバード・ビジネススクール (HBS) の人気オンラインプログラムを履修し、自らの事業アイデアを構築していきました。HBS元教授による特別セッションも開催。

Stage.3 ボストン・シリコンバレー派遣



約1週間、アメリカのハーバード大学やスタンフォード大学などのイノベーション拠点を訪問。現地の人や空気に触れつつ、自らの事業アイデアを磨き上げました。

SGSCの参加者にお話を伺いました



東北大学医学部
やまおか そら
山崎 蒼空さん

きっかけは生活習慣病の予防

医学生として勉強する中で、生活習慣病に関心を抱くようになりました。生活習慣を変えるのは難しく、病気になって大変な思いをする方がいることにもどかしさを感じていました。自分でも何かできないかと考えるようになり、その方法にスタートアップがあるのではと思い、参加しました。

プログラムを通して得た学びと気づき

興味のある分野が異なるメンバーと話すことで刺激を受けるとともに、オンラインプログラムでは、失敗を恐れないことや自分から機会をつかみに行く心構え、事業に必要な知識などを学びました。また、HBS

元教授の、常に意見を求められる授業は新鮮でした。海外派遣では、人気ゲームアプリを開発した企業の方から、ゲームで人々が自発的に外に出て動くよう誘導することを考えたという話を聞き、その発想が特に印象に残りました。

自然とみんなが健康になれるものを

ダイエットアプリや栄養素を調べるアプリなど健康に関するツールは多くありますが、長続きしないケースもあります。SGSCで学んだ知識や発想を生かして、強制しなくても自然とみんなが健康になれるようなものを創り出し、社会に提供していきたいです。

スタートアップの支援拠点を新たに開設—

仙台スタートアップスタジオ



仙台・東北から世界を変えるスタートアップの創出を目指し、スタートアップの事業立ち上げや事業成長に向けたさまざまな支援を提供するワンストップ支援拠点を開設します。

- 開設日** 3月14日(木)
- 開設場所** アーバンネット仙台中央ビル内 (青葉区中央4-4-19)
- 支援内容**
 - スタートアップ向け窓口相談 (3月18日(月)開始)
 - 仙台・東北の経営者や首都圏等で活躍するスタートアップの経営者等による個別アドバイス
 - セミナー、交流会等のイベント開催 など
- 対象** 仙台・東北のスタートアップ、スタートアップを目指す方

詳しくは仙台スタートアップスタジオホームページ<https://sendaistartupstudio.com/>をご覧ください



▲外観

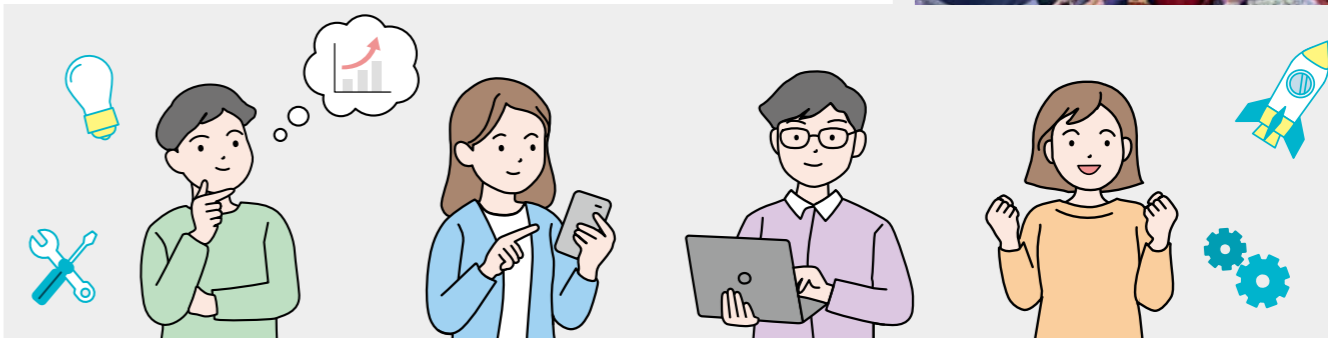


▲2階相談スペース



チャレンジ促進！暮らしを変える「スタートアップ」

革新的なビジネスモデルの構築等により、急成長を目指す企業「スタートアップ」。私たちの暮らしを豊かにする可能性があるだけでなく、地域課題の解決や地域経済の活性化につながることも期待されています。



スタートアップと起業の違いは？

- スタートアップ**
先進的なアイデアや技術を強みに、急速な成長を目指す
- 起業**
飲食業や美容業など、すでに市場が存在し、ビジネスモデルが検証されて着実な成長を目指すことが多い

スタートアップがもたらす効果

- 生活がより便利になるかも！**
例えば…
 - ・消費電力が100分の1になる半導体の開発により、スマートフォンの充電が3カ月に1回に
 - ・新たな電池素材の開発により、電気自動車の走行距離が伸びる
- 雇用の創出等による地域の活性化**
 - ・スタートアップへの就職・転職等で若者の地元定着へ

世界で活躍する人材の育成に向けて
東日本大震災以降、東北地方ではさまざまな社会課題が顕在化すると同時に、「地域のため」「復興のため」という思いを持った人々が集まるようになり、起業の動きが活発化しました。市では、このような動きを後押しすることが震災復興や地域経済活性化につながると考え、起業支援に取り組んできました。これまで、仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」の開設などにより支援体制を構築し、本市の新規開業率は、政令指定都市では福岡市に次いで全国2位となりました（平成26年から平成28年平均）。

現在、市では起業支援に加え、より成長志向の強いスタートアップの創出、成長をさらに後押しする体制を強化しています。令和5年度には、仙台・東北から世界で活躍できる人材を輩出するためのプログラム「仙台グローバルスタートアップ・キャンパス」を実施。東北各地から集まった若者が、世界最先端のプログラムを通して自身のアイデアを磨きました。さらに、支援環境をより充実させるため、事業の立ち上げや成長に向けたさまざまな支援を提供する拠点施設を3月に開設します。

地域にスタートアップが増加することで、新たな働き方の選択肢として起業やスタートアップへの就職・転職が増え、首都圏一極集中の改善につながる可能性もあります。仙台・東北の持続的成長のため、若者をはじめ、多くの方のチャレンジを応援していきます。

この特集に関するお問い合わせは、スタートアップ支援課 ☎214・8768、FAX267・6292